

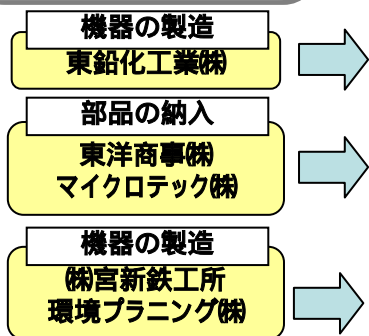
地域	大阪府寝屋川市	認定日	平成19年11月5日	5 - 19 - 073
事業分類	製造(一般機械)	テーマ分類	環境	

事業名: 「焼酎工場排水処理システム」の製造・販売及びメンテナンス事業

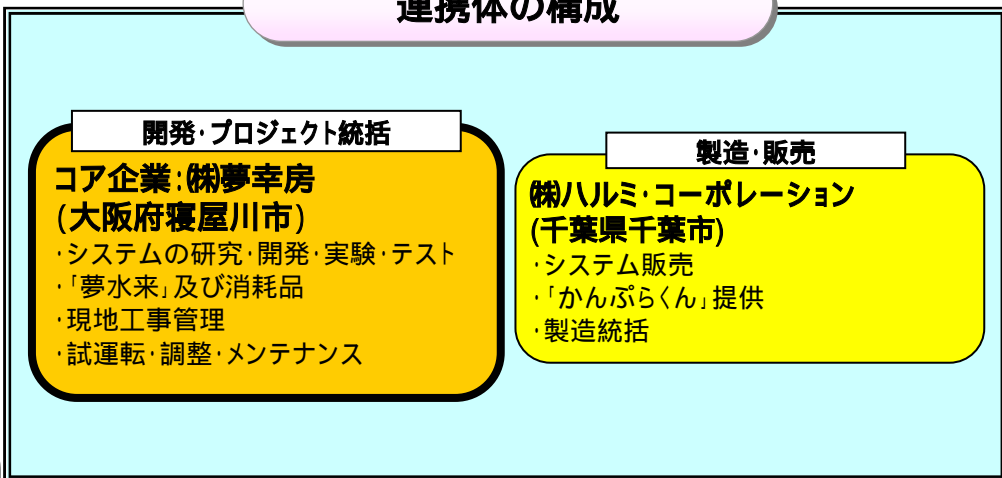
事業概要(新規性、市場性等)

- ・2007年4月より施行されたロンドン条約(海洋汚染防止法)により焼酎廃液の海洋投棄が全面禁止になり、小型かつ操作が簡便な排水処理装置の開発が喫緊の課題となった。
- ・このような課題解決に向け、自前の排水設備を持たない中小の焼酎メーカーを対象とした、小型の焼酎絞り粕廃液の処理装置を製造し、販売。
- ・本装置は海洋汚染の原因となる成分を除去し、焼酎廃液を海に放流可能なきれいな水に浄化。
- ・また、今まで中小メーカーの負担となっていた廃液処理コストを大幅に削減することが可能になる。
- ・中小の焼酎メーカーそれぞれの製造規模の違いに配慮し、処理能力によって3種のタイプを準備。

事業推進体制



連携体の構成

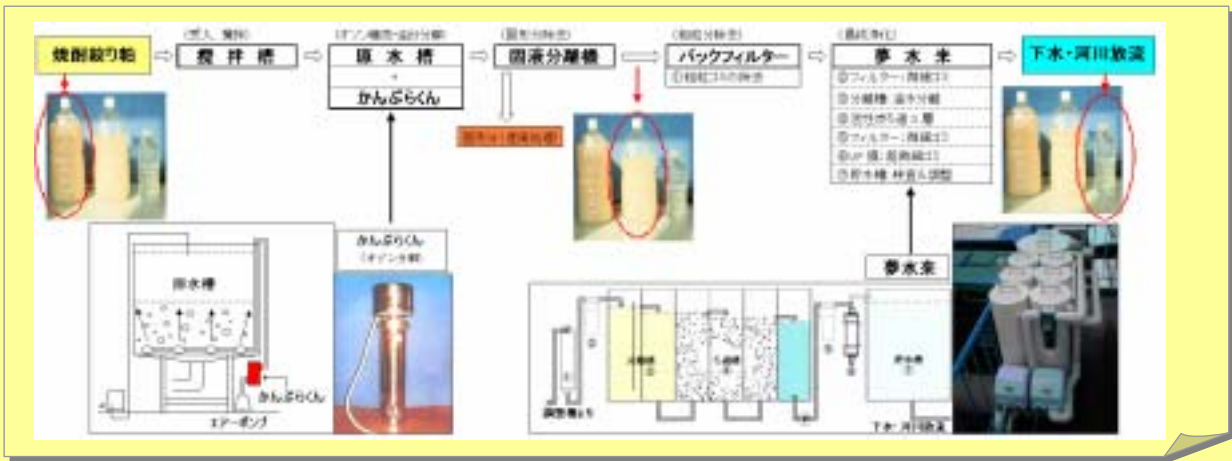


支援予定メニュー

- 補助金
- 低利融資
- 信用保証の特例
- 特許料減免
- 高度化融資

経営全般
大阪府産業振興機構

新連携構築全般
寝屋川市立産業振興センター



システム概念図

連携のきっかけ、特徴

- ・(株)夢幸房(コア企業)の代表者である松尾氏は、長年、中小規模工場向けの工場排水循環型再利用システムを開発、販売してきた。
- ・同氏は、焼酎廃液の海洋投棄が禁止されることをにらみ、今まで蓄積されたノウハウから焼酎廃液の処理施設を考案した。しかし焼酎廃液に含まれる懸濁物質・臭気などの処理が難しく、製品化における課題となった。また、夢幸房は生産設備は有しておらず、供給体制の確立も課題となっていた。
- ・そのような中、環境プランニング(株)(外部協力団体)が製造する食品排水の処理システム「かんぷらくん」を利用すると効果的であることがわかった。
- ・また、「かんぷらくん」を取り扱っており、なおかつ生産設備を有する(株)ハルミ・コーポレーションと連携体を構築し、懸濁物質の処理、臭気の問題を解決、製品化のめどがたった。
- ・さらに、(株)ハルミ・コーポレーションの持つ販売組織を利用して、製品の販売を行うこととなった。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	(株)夢幸房 代表取締役 松尾 光政		
所在地	大阪府寝屋川市池田旭町9番11-210号		
創業	平成18年2月		
資本金・従業員数	5万円	3名	
業種	製造業		
T E L	072-839-3731		
F A X	072-839-3732		
ホームページ	http://www.yumekoubou.biz		
e - m a i l	nigiwai@office.city.neyagawa.osaka.jp		

PR等その他の情報

- ・焼酎醸造工場市場をターゲットとしています。
- ・認定に至るまでには、装置の小型化と処理水質の向上という障壁がありましたが、平川SMの献身的な支援により、それを乗り切ることができました。
- ・焼酎醸造業界との商談が進み、間もなく売り上げ計上される見込み。
- ・5年後は焼酎廃液処理技術を活用しあらゆる中小食品工場の排水処理及び排水の再利用に取り組む予定。
- ・平成20年5月に大阪で開催予定されている中小企業総合展大阪会場に出展予定。